

マウス及びヒト癌に対するアドレアマ
イシン及びメシマコブ抽出液由来多糖
類(Mesima)による免疫化学療法

- 俞益東 金桓默 韓相配(韓国生命工学研究所)
洪南斗(韓国新薬)
松永政司 宇住晃治(核酸普及協議会)

〔目的〕メシマコブ(Phellinus li-
nzius, PL)から抽出した多糖類(Mesima)
は細胞性及び体液性免疫を活性化する
ことが以前報告された。本研究では癌細胞の増殖及び転移に対する
Mesimaの免疫化学療法的な活性を調べた。

〔方法〕Mesimaの濃度としては、強力免疫活
性が得られた濃度100mg/mlを用いた。
またアドレアマイシン0.1~3mg/KgをMes
imaとの相乗効果を確認するため用いた。

〔成績〕B16F10を移植したマウスにおいて、Me
sima単独投与により生存率は著しく向上した。
NCL-H23を移植したnudeマウスにおい
ても癌細胞の増殖は抑制された。またMesima
によりB16F10メラノーマの肺への転移は抑制さ
れた。アドレアマイシンは癌細胞の増殖を著しく抑
制したが転移に対する抑制効果は弱かった。Mes
ima及びアドレアマイシンによる免疫化学療法を
行った場合癌の増殖は相乗的に抑制されたがM
esimaによる抗転移作用に対してアドレアマイシ
ンは拮抗的な作用を示した。アドレアマイシンは癌
細胞に対して強い細胞毒性を示したがMesima
は示さなかった。又B16F10メラノーマを移植したS
PF(無菌)マウスにMesimaを投与した後の抗
がん免疫機能増強作用を生存期間の延長で確認
した。更にMesimaをB16F10メラノーマ移植
7日前から処理した場合は生存率が著しく向上し、
Mesimaの予防効果も確認された。

〔結論〕Mesimaは癌の免疫化学療法として使
われることになる。なぜならばMesimaは副作用
なしに患者が癌細胞の増殖及び転移を免疫系の活性
化を介して治療効果を発揮するからである。